

学科名	情報学科						
科目名	人間のこころ						
科目区分	人間形成科目	単位数	2	開講時期	後期		
必修・選択の別	選択						
担当者	岡野亜希子						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安楽死, 脳死, 出生前診断をめぐってどのような問題が生じているのかを知る。</li> <li>・安楽死, 脳死, 出生前診断をめぐらる問題を考えるための基本的な知識を理解する。</li> <li>・マスメディアの情報を批判的に検討する視点を身につける。</li> <li>・生命倫理をめぐらる問題についての自分の考えを, 客観的な言葉で表現することができるようにする。</li> </ul>						
日程と内容	第1回 オリエンテーション: 授業の概要, 成績評価について 第2回 こころはどこにあるのか? 第3回 動物の権利は認められるか? 第4回 死ぬ権利は認められるか? (1) 第5回 死ぬ権利は認められるか? (2) 第6回 中間レポート 第7回 「脳死」患者にこころはあるのか? (1) 第8回 「脳死」患者にこころはあるのか? (2) 第9回 「脳死」患者にこころはあるのか? (3) 第10回 胎児にこころはあるのか? (1) 第11回 胎児にこころはあるのか? (2) 第12回 キュアの理念とケアの理念 第13回 技術と倫理の問題 第14回 まとめ 第15回 定期試験について 定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート	30%	プレゼンテーション				
	課題						
	演習		計	100%			
授業到達目標の達成度	おおむね次の点から目標を達成したとみることができる。 ・安楽死・脳死, 出生前診断をめぐってどのような問題が生じているのかを知り, それらを考えるための基本的な知識を理解できた。 ・マスメディアの情報を批判的に検討する視点を身につけた。 ・生命倫理をめぐらる問題について自分の考えを, 客観的な言葉で表現できるようになった。						
反省点	スクリーンが見えにくいことがある, 時間ぎりぎりまで授業をするため, 次の授業への移動が大変だった, などの声がいくつかあった。改善できるよう努力したい。						
来年度の計画	次年度も履修者が多いことが予想されるため, 席によってはスクリーンが見えにくいことがあると思われる。配布資料で細かな情報を補足できるようにしたい。また, 毎回出席カードの提出にある程度時間がかかるため, その時間を考慮した授業を行い, 少し余裕をもって授業を追えるようにしたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	学生からの要望に対しては, 「来年度の計画」で上げたような改善を試みるつもりである。						
履修登録者数	203名	定期試験 受験者数	154名	合格者数	133名	合格率	86%